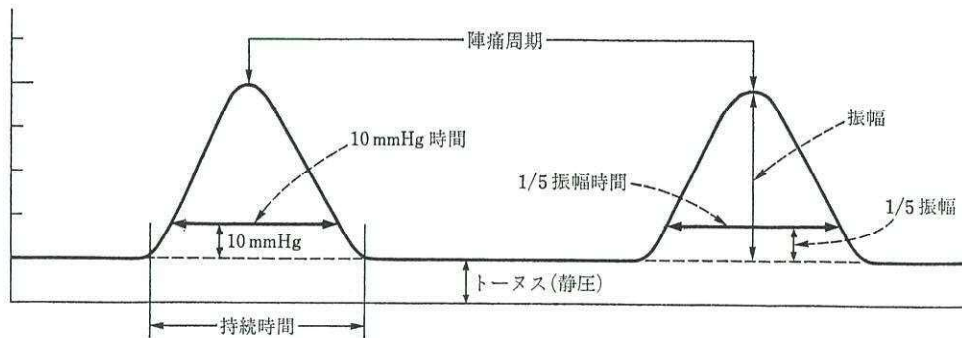


陣痛

a. 陣痛曲線の計測法



b. 過強または微弱陣痛の診断基準

子宮内圧	程度	子宮口開大度			
		4~6 cm	7~8 cm	9 cm~2 nd Stage	
	平均	40 mmHg	45 mmHg	50 mmHg	
	過強	70 mmHg 以上	80 mmHg 以上	55 mmHg 以上	
	微弱	10 mmHg 以下	10 mmHg 以下	40 mmHg 以下	
陣痛周期	程度	子宮口開大度			
		4~6 cm	7~8 cm	9~10 cm	2 nd Stage
	平均	3分	2分30秒	2分	2分
	過強	1分30秒以内	1分以内	1分以内	1分以内
	微弱	6分30秒以上	6分以上	4分以上	初産: 4分以上 経産: 3分30秒以上
陣痛持続時間	内測法	(10 mmHg 時間による) 平均: 50秒 過強: 1分30秒以上 微弱: 30秒以内			
	外測法	(1/5 振幅時間による)			
		程度	子宮口開大度		
			4~8 cm	9 cm~2 nd Stage	
		平均	70秒	60秒	
過強	2分以上	1分30秒以上			
微弱	40秒以内	30秒以内			

図 8. 陣痛の強さの診断基準 (日産婦)

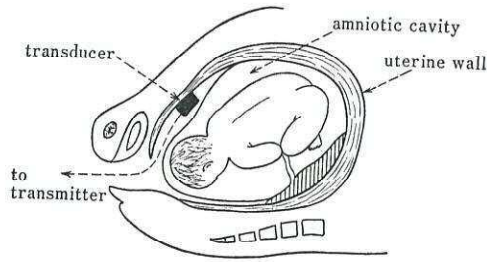


図 4. Micro disc 法⁽¹⁾

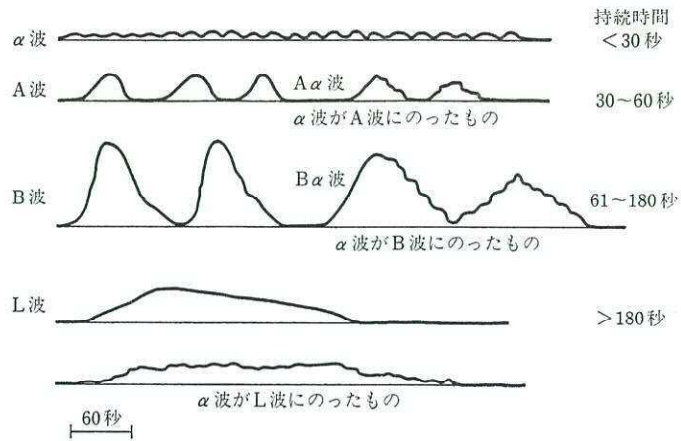
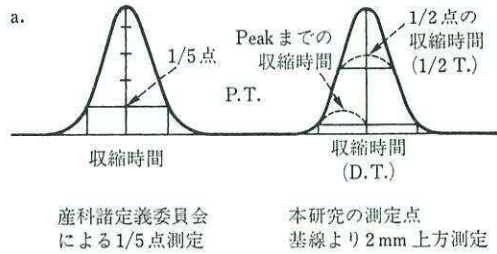


図 5. 子宮収縮の分類 (中江)



b. 子宮収縮指数 (N)

$$N = \frac{P.T.}{D.T.} \times \frac{1/2 T.}{D.T.} \times D.T.$$

- D.T.'はD.T.の85秒を基点とし、小さい場合は1秒毎に1点加算し、大きい場合は5秒毎に1点加算した数値
- P.T.→Peakまでの収縮時間
- 1/2 T.→振幅の1/2点の収縮時間
- D.T.→収縮時間基線上2mm測定

図 6. 子宮収縮指数 (中江)